

『平成22年度 第3回地域力創造セミナー』開催のご案内

◆ 本セミナーの開催趣旨

国・地方の厳しい財政状況や人口減少社会の到来など、地域を取り巻く環境が大きく変化している中、地域を支える人材の育成や地域経営のためのノウハウ蓄積、コミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点が更に重要となってきております。このため、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供するため、「地域力創造セミナー」を開催します。

◆ 第3回セミナーの開催日時、場所

- 日時：平成23年2月18日(金) 13:00~17:45
- テーマ：地域力創造の現場から「地域の農を活かした地域づくり」
- 場所：TKP 仙台カンファレンスセンター(ホール4A)
宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3 ソララガーデン・オフィス4階
(<http://tkpsendai.net/access/>)

◆ 本研修の特長

- ★「地域人材ネット」へ登録の専門家等を講師・発表者として、活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウが習得できます。
 - ★受講募集時に質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに対応いたします。
 - ★セミナーを通じて、講師や受講者が自由に情報交換をすることでネットワークを広げる機会があります。
- ※「地域人材ネット」：地域活性化に活躍している民間専門家や先進市町村職員等を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与しています。
地域人材ネット Web アドレス：<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

◆ 本セミナーの受講の対象者

- 地域活性化に興味を持つ、あるいは関連部署の行政職員
※募集人数は100名程度を予定しております。申し込み多数の場合は地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数を有する方を優先させていただきます。

◆ 参加費

セミナー参加は無料です。

◆ 応募方法

専用の受講申込書(別紙4)より都道府県及び管内市区町村の職員の受講希望を取りまとめの上、平成23年1月19日(水)17時までに電子メールにて総務省地域力創造グループ地域自立応援課 <s.hisanaga@soumu.go.jp>宛に提出してください。受講決定は1月下旬に事務局から受講者に直接お知らせいたします。

◆ 問い合わせ先

【セミナー全般・お申込等について：主催者】
総務省地域力創造グループ 地域自立応援課
担当：秦野地域支援専門官、高橋係長、久永事務官
TEL：03-5253-5394 FAX：03-5253-5537
E-Mail：s.hisanaga@soumu.go.jp

【お問合せについて：事務局】
みずほ情報総研株式会社 社会経済コンサルティング部
担当：吉岡、余川(よかわ)
TEL：03-5281-5406 FAX：03-5281-5443
E-Mail：chiikiryoku@mizuho-ir.co.jp

◆ 第3回セミナーの内容

1. 開会 (13:00)
2. 講演 1 (13:20~14:30 70分)
 テーマ「農業の六次産業化による地域おこし」
 講師：農事組合法人伊賀の里モクモク手づくりファーム
 社長理事 木村 修 氏
3. 講演 2 (14:40~15:50 70分)
 テーマ「そばによる国際交流とむらおこし」
 講師：財団法人利賀ふるさと財団 理事長 中谷 信一 氏
4. パネルトーク (16:00~17:00 60分)
 テーマ：地域活性化について必要なものとは
 コーディネーター：松蔭大学観光文化学部 教授 古賀 学 氏
 パネリスト：木村 修 氏、中谷 信一 氏
5. 名刺交換会 (情報交換会) (17:00~17:45 45分)
6. 閉会

◆ セミナー会場 (TKP仙台カンファレンスセンター) までのアクセス

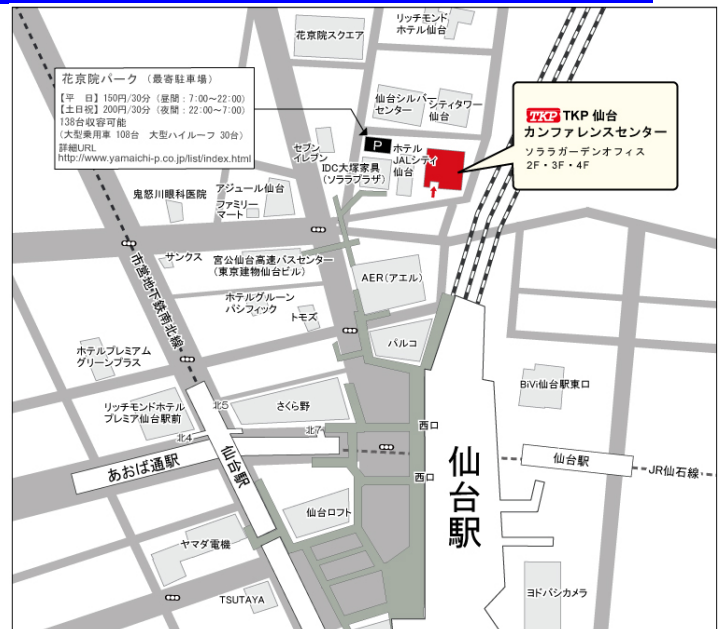
■ JR・地下鉄をご利用の場合

- ★ JR 仙台駅西口より徒歩 3分
- ★ 市営地下鉄南北線仙台駅徒歩 5分

■ お車をご利用の場合

- ★ 会場には駐車場を用意しておりませんので、お近くの駐車場をご利用ください。

【ご参考】会場最寄の駐車場
 花京院パーク 150円/30分



◆ 申し込み欄

氏名(ふりがな)	()
E-mail アドレス	
電話番号	
ご所属	(所属名)
	(部署名) (役職名)
	(電話番号)
	(地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数) 年
本セミナー当日にお聞きしたいことがございましたらご記入ください	講師名： 質問：

平成22年度 第3回 地域力創造セミナー講師等一覧

参考

		氏名(敬称略)		実績等
講演1 (70分間)	木村 修 (きむら おさむ)		農事組合法人伊賀の 里モクモク手づくり ファーム 社長理事	農業公園「伊賀の里モクモク手づくりファーム」による地域の活性化 三重県伊賀市山麓に自然・農業・食農学習をテーマにした農業公園「伊賀の里モクモク手づくりファーム」を作り上げる。1987年、たった一人の船出だった。専務理事、吉田修と共に、「脱・既成農業」の名の元、ユニークな手法と情熱で、20年間で従業員300名、年間38億円に達する規模まで育てた。人口8,700人の旧阿山町(現・伊賀市)に、年間50万人の観光客が訪れる。 内閣官房、経済産業省より「地域産業おこしに燃える人」に選定。 地域おこしを民間発想から役立ちたいと考え、株式会社松阪協働ファームの代表取締役として、松阪農業公園ベルファームの運営にも携わる。 平成21年度及び平成22年度地域力創造アドバイザー(総務省)
講演2 (70分間)	中谷 信一 (なかたに しんいち)		財団法人利賀ふるさと財団 理事長	そばによる国際交流とむらおこし 観光資源の乏しかった過疎の村(富山県旧利賀村)において村役場職員として、世界演劇祭『利賀フェスティバル'82～第1回世界演劇祭in富山』の担当をしたことをきっかけに、小さな山村から世界に通じるものを作ることができることを確信した。また同時に、豪雪に覆われる冬にも何かできないかと考え始めた。 その後、いち早く都市農村交流に取り組み、「そば」によるむらおこしとそばの原産地であるネパール王国ツクチェ村との交流を通じて独創的な観光資源づくりを行い、自らも自宅の一部を改造した玩具博物館を開設している。 2004年の合併により南砺市になった現在も、市の活性化と観光振興に大きく貢献している。 観光カリスマ百選(2003年選定 内閣府・国土交通省・農林水産省)、地域中小企業サポーター(2007年 国土交通省・経済産業省)、地域活性化伝道師(2007年 内閣官房)
パネル トーク コーディネーター	古賀 学 (こが まなぶ)		松蔭大学観光文化学 部 教授	東京農業大学非常勤講師、立教大学兼任講師、東京家政学院大学非常勤講師、東京大学まちづくり大学院非常勤講師、NPO法人観光文化研究所理事長、NPOふるさと広報センター理事等を兼務。社団法人日本観光協会総合研究所長を経て現職。現在、観光庁観光圏整備事業委員会及び分科会委員、同観光統計の整備に関する検討懇談会等委員。国土交通省水源地域対策アドバイザー、全国離島振興協議会離島振興法改正検討会議委員、新潟県満足度調査委員会委員長、山梨県観光懇話会委員等。新潟県高柳百姓のそばネットワーク、大和市、綾瀬市等アドバイザー。著書に「観光カリスマ」「観光実務ハンドブック」「観光キーワード事典」「現代交通観光辞典」など。特に利賀村とは、昭和60年からそばの郷づくり、ネパール・ツクチェ村や韓国とのそばによる交流事業、素人蕎麦打ち最高段位審査委員、南砺市観光大使等を通じて交流を続けている。